

平成27年度あいち森と緑づくり事業助成事業

面ノ木峠原生林観察会

今年は、明治用水開削を手がけた**都築弥厚翁生誕250年**です。
先人の苦勞を偲び、**明治用水の水源地**を自分の目で確かめることにより、改めて自分と森との関わりや水の大切さがわかりました。

8月24日（日）の水源地の森観察会で、設楽町ふるさとガイドで自然観察員をされている加藤博敏さんを講師に迎え、原生林散策し、緑豊かな矢作川水源の森を撮影してきました。



↑ 設楽町自然観察員の加藤博敏さん
← 自然観察会参加者のみなさん

板倉さん撮影



水と緑

大谷さん撮影



汐満さん撮影

春から夏にかけては、まばゆい緑に木漏れ日が心地いい

荒井さん撮影



愛知県では2か所しかない**貴重な原生林**で、樹齢300年を超えるブナをはじめ、カエデやモミ、ツガなどの大木が生い茂り、森林浴を満喫しながら歩ける遊歩道があります。

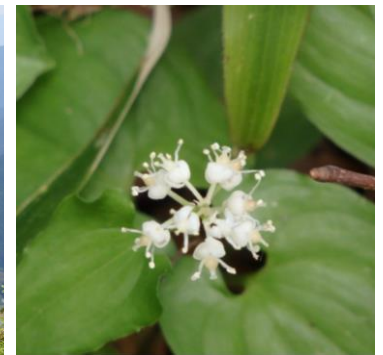
松永さん撮影

奥野さん撮影



森林浴をしながら散策できる遊歩道。途中の展望台からは、富士山を眺めることができる日もあります

神谷先生撮影



手つかずの自然が残るエリアだけに、**野草の宝庫**にも。季節ごとに、可憐で美しい野草の花々が咲き乱れます。渡りをすることで有名な「アサギマダラ」という蝶や、さまざまな野鳥と出会うこともできます。



森と水の大切さ